

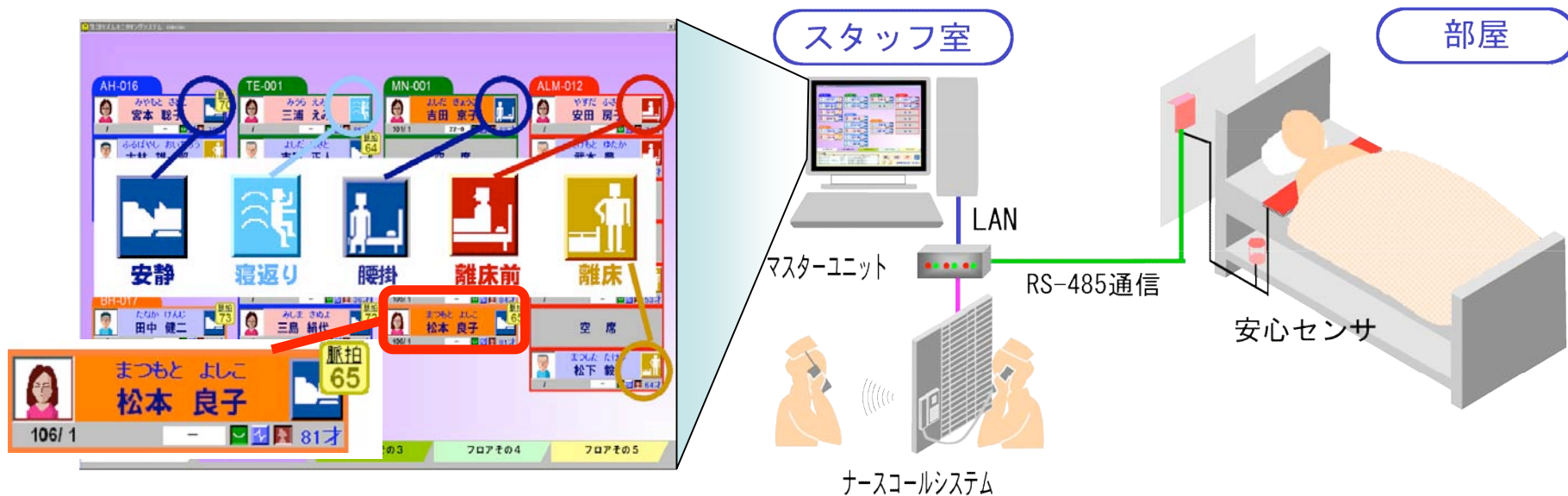
無意識かつ非拘束なセンシングシステムによる見守り支援の実現

事業概要

特別養護老人ホームにおいて、無意識、かつ非拘束に見守ることのできるセンシングシステムを導入し、見守り支援サービスを実現します。その効果を評価するため、人手が手薄になり重労働となる夜間において、システム導入前後の介護従事者の行動と活動量、疲労度測定を行います。行動は関わりと見守りの業務に分類して5分ごとに時系列シートを作成、活動度は加速度計付き万歩計により測定、疲労度はアンケート調査（蓄積的疲労徴候、燃え尽き症候群、老人介護従事者のストレス尺度、組織特性および仕事特性）による得点化と唾液測定により評価します。それぞれを定量的に比較して見守り支援システム導入の効果を検証し、介護従事者の生産性向上を実証します。

実施団体等

- (代表) 株式会社きんでん
(参加団体) ①兵庫県立大学環境人間学部 ②(有)ニューセンサー開発
(実施場所) 特別養護老人ホーム清滝らくらく苑(大阪府)



システムが就寝状態を検出し、設定した各種状態をナースコールシステムと連動して通報

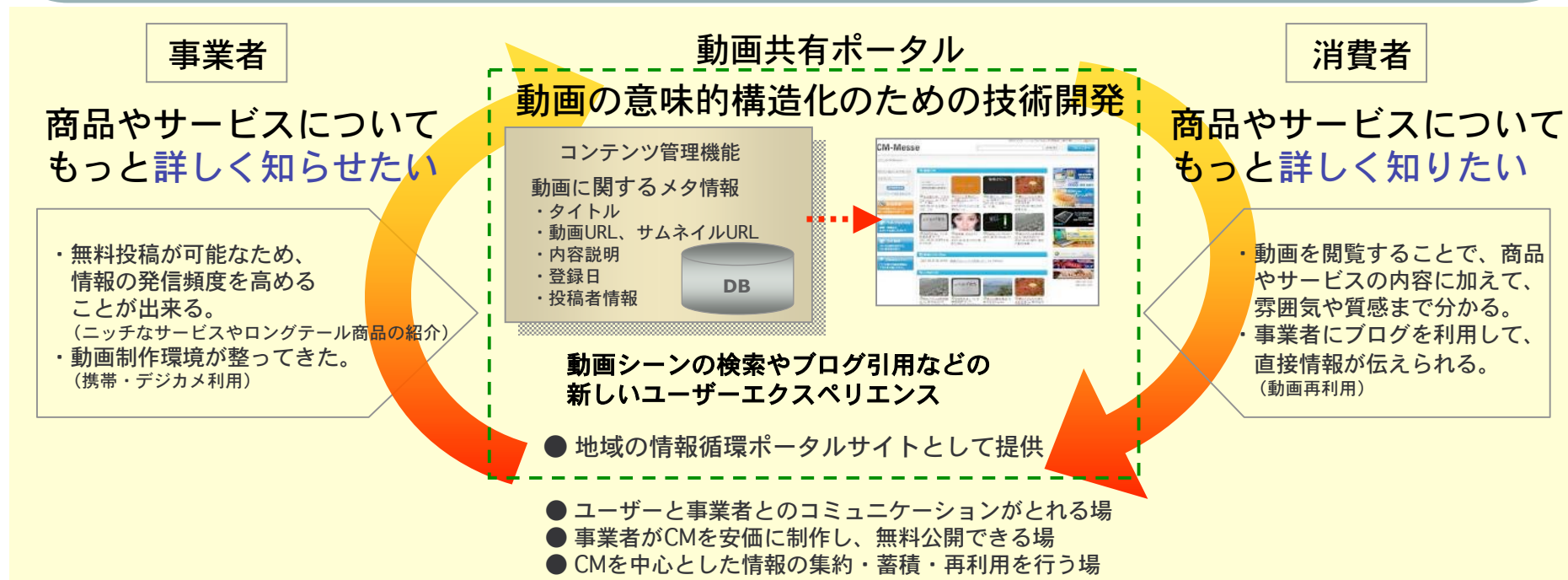
～地域情報流通ポータル提供による今までにない広告メディアの構築を目指す～

事業概要

本事業では、事業者が動画CMを安価に制作して無料公開でき、消費者もそれを編集できるようにするために、動画の意味的構造化技術を地域ポータルサイトを通じて提供します。これにより、消費者の「知りたい情報」と事業者の「知らせたい情報」をマッチングできるようにします。動画CMを中心とした情報の集約・蓄積・再利用による共有循環を通じて消費者と事業者とのコミュニケーションを促進し、需要と供給との適合を支援することによる、地域社会のサービス生産性の向上を実証します。

実施団体等

(代表) 株式会社 リオ
(参加団体) ①国立大学法人名古屋大学 ②(有)パワーソース
(実施場所) 西三河地区(愛知県)



医療サービスの改善と安全性向上のための知識循環モデルの適用実証

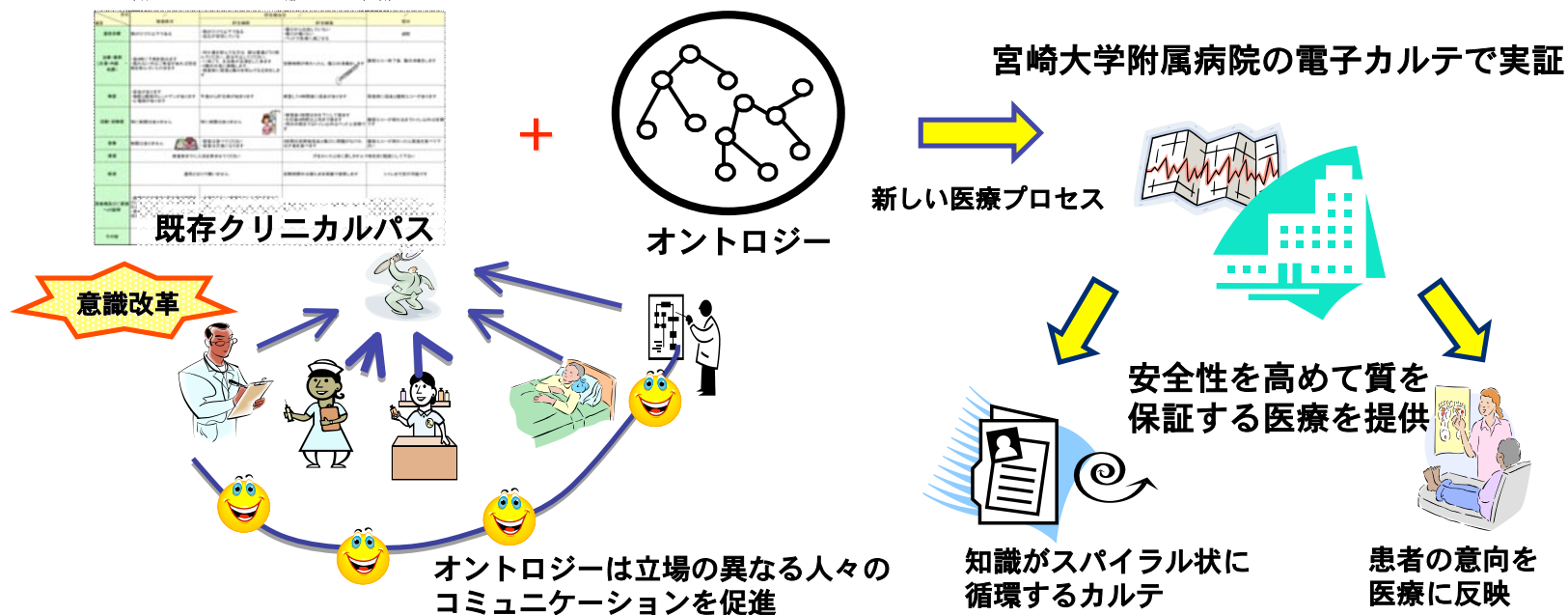
事業概要

さまざまな知識を整理して誰もがわかるように表現するための技術として、オントロジーが注目されています。本事業では、病院の医療手順書であるクリニカルパスとオントロジー技術を組み合わせ、これまで明確に記されていなかった医療の目的などの知識を明示するとともに、オントロジーに基づいてクリニカルパスを作成するソフトウェアツールを開発します。実際の電子カルテにこれを組み込んで病院での診療に活用し、医療の目的に関する患者と医療者との合意形成等、医療現場での知識の共有・循環の促進を通じて、治療効果の向上、医療の質や安全性の向上に貢献することを実証します。

実施団体等

(代表) 国立大学法人宮崎大学
(参加団体) ①国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
(実施場所) 宮崎大学医学部附属病院（宮崎県）

クリニカルパスとオントロジーの組み合わせ



生活習慣の継続的モニタリングと行動変容に応じた健康改善サービスの検証

～健康モデルに基づいた個人に適した健康改善サービスの構築を目指す～

事業概要

40歳から74歳の日本人のうち、男性1/2、女性1/5の割合の方がメタボ患者／予備軍と言われ、生活習慣病予防は我が国の社会的最重要課題です。本事業では、はじめに生体データのガイドライン的指標と主観的指標による健康度の他、知識レベルと自己効力感(モチベーション)の3要素よりなる健康モデルを提案します。次に、同モデルの3要素をバランス良く向上させる健康改善サービスを行動変容理論(習慣化した行動の変化に関する理論)に基づいて構築し、実証実験においてこれら3要素の向上を検証します。強制的、あるいは画一化されたガイドライン的健康サービスでは生活習慣の改善は長続きしません。適切な健康教育とモチベーションの維持を同時に支援する健康サービスが重要です。本事業では、個人と社会向けの健康サービスを実現し、事業化についても検討します。

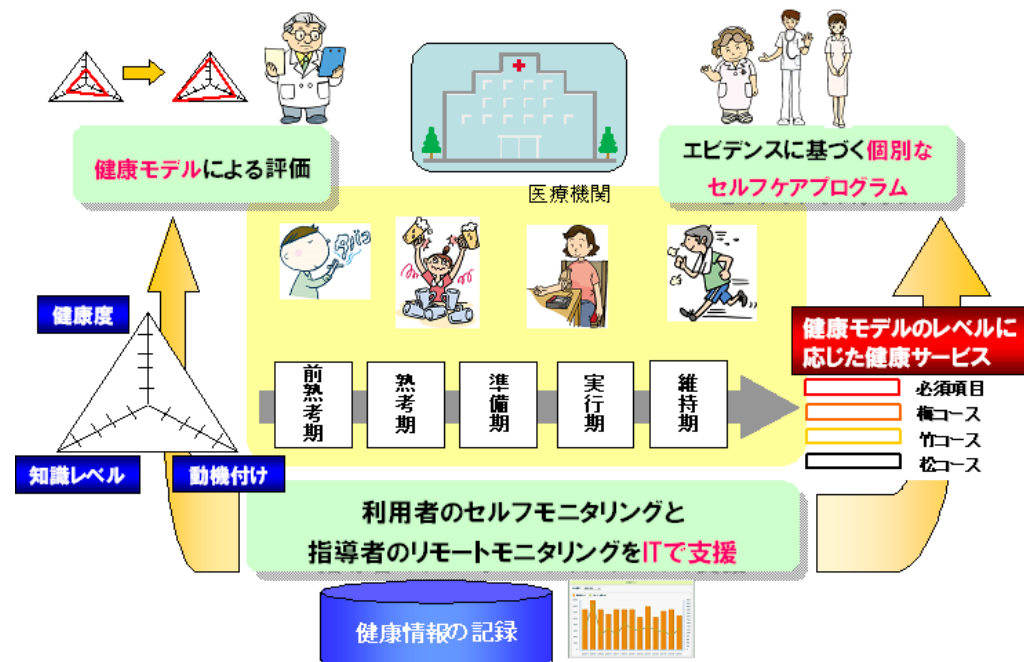
実施団体等

(代表) 宮城大学

(参加団体) ①株式会社サイエンティア ②(財)仙台応用情報学研究振興財団 ③宮城県立循環器・呼吸器病センター

(実施場所) [一般住民] 宮城県内の自治体; [病院] 宮城県内の病院

行動変容に応じた健康改善サービス



SCIM技術による顧客サービスの最適設計と生産性向上の実証

事業概要

本事業では、コストと人手のかかる顧客サービスの最適設計の実現を目指します。具体的には、自動車販売業を対象に、どのような場面でどの程度のスキルを持つスタッフが必要か等を「見える化」して、①人員の再配置、②人材の採用、③人材の教育、④情報技術（IT）の活用等の施策を最適化することにより、サービスの効率と付加価値の向上を同時に実現する技術（SCIM: Smart Customer Interaction Modeling）の有効性を実証します。自動車販売業に加え、その他サービス業への応用可能性も検証します。

実施団体等

(代表) 国立大学法人東京工業大学

(参加団体) ①埼玉トヨペット(株) ②(株)いちい ③(有)ファンタスティックス

(実施場所) 埼玉トヨペット(埼玉県)、いちい(福島県)

